

中堅・中小自動車部品サプライヤー企業の攻めの業態転換に向けて①

- 電動化の進展、自動車の付加価値構造の変化、海外現地生産の加速、カーボンニュートラルへの対応等、自動車産業を取り巻く事業環境の変化に対して、中堅・中小部品サプライヤー企業自らが変革への対応を求められる。既存領域でより稼ぎ、新規領域に挑戦していくことが求められる。

企業の変革への対応

既存領域

大手部品サプライヤーの一部の機能・役割を担うとともに、コア事業の競争力のさらなる強化を図る

- 経営、生産現場等へのIT・デジタル化による一層のスマート化、着実な利益創出による将来リソースの捻出
- 差別化された既存事業・コア事業の一層の競争力強化

新規領域

積極的な
先行開発・投資

将来の柱となる新規領域
への事業拡大を図る

- 既存領域で蓄積した技術・リソースを活用し、企業変革力向上、新規領域への挑戦
- 既存事業の周辺領域や、CASE関連・非自動車分野などの新規事業を創出・育成

既存領域 × 新規領域

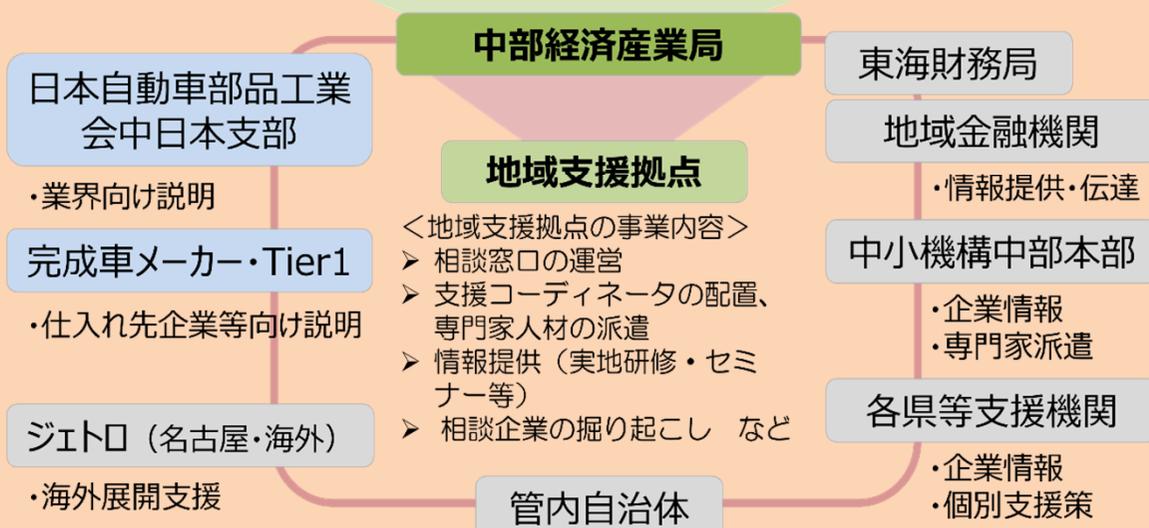
- 製造工程全体でのカーボンニュートラル対応の実現に向けて、イノベーションの創出、コストと付加価値のバランスが必要。

地域におけるサプライヤー支援体制の構築

- サプライヤー地域支援拠点（相談窓口・事務局）を核に、自動車産業に関連する地域の様々な機関が連携
- サプライヤー企業が抱える課題の抽出から経営戦略の策定、支援策の活用など、提案型企業への変革を目指して、専門家人材を活用した伴走型支援を実施

中堅・中小自動車部品サプライヤー

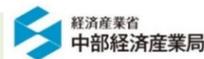
サプライヤー地域支援機関等連絡会議



中堅・中小自動車部品サプライヤー企業の攻めの業態転換に向けて②

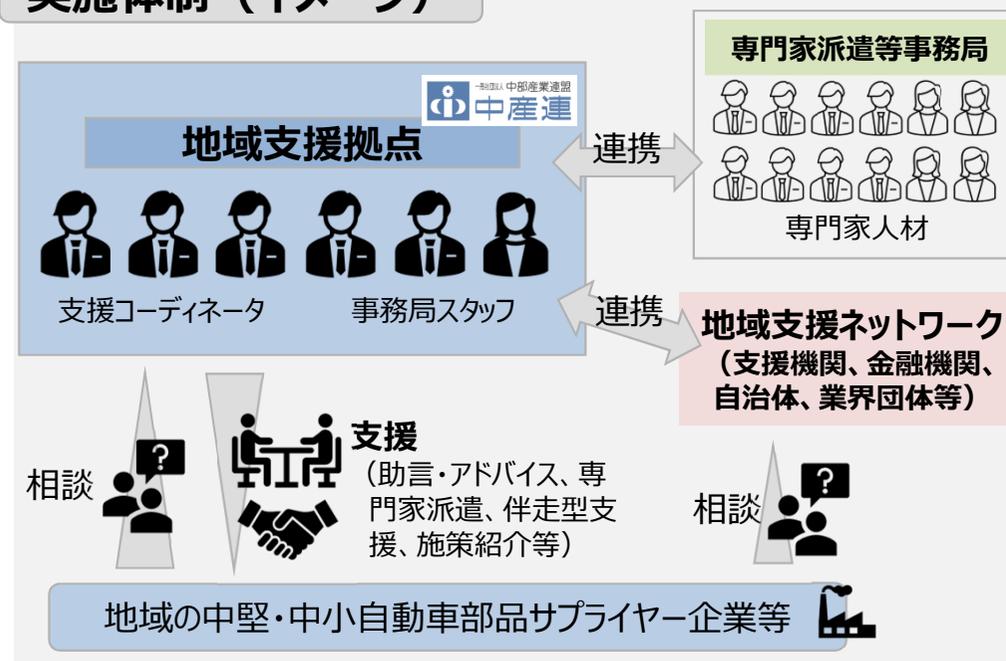
- 地域の中堅・中小自動車部品サプライヤー企業の相談対応を行う「地域支援拠点」の設置に向けて準備中（7月、立ち上げ予定）。
- 当地域の地域支援拠点の運営機関として、一般社団法人中部産業連盟を予定。

主な実施内容



- 地域の中堅・中小自動車部品サプライヤー企業の相談対応（相談窓口の設置、運営）
- 自動車産業に精通した支援コーディネータ(複数名)による相談対応、特定の課題解決に向けた専門家人材の派遣
- 地域支援拠点キックオフイベント、大手部品サプライヤー企業との協力による技術動向セミナー・実地研修、創造と変革に向けた経営力向上ワークショップ等の開催
- 成功モデルの創出に向けたハンズオン支援パイロット事業の実施
- 相談企業掘り起こしに向けた出張相談会、個別企業訪問の実施
- 地域支援機関・金融機関・自治体等による「地域支援ネットワークの形成」（地域支援機関等連絡会議）
- 自動車産業の最新動向等の情報発信（セミナー等）：「もっと知りたい！～自動車産業の今とこれからセミナーシリーズ～」開催 など

実施体制（イメージ）



今後の予定

- 7月(予定)
- 地域支援拠点（相談窓口）活動開始
 - キックオフイベントの開催
 - 地域支援機関等連絡会議の開催

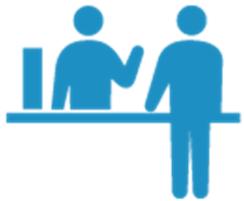
※一般社団法人中部産業連盟は、1948年設立。約700の企業・団体を会員として、コンサルティング事業、マネジメント開発・研修事業等を行うマネジメント専門団体。企業が行う事業の仕組みづくり、ヒトづくりをサポート。

【参考】自動車産業『ミカタ』プロジェクト

事業再構築補助金「グリーン成長枠」(R3補正) : 6,123億円の内数
 カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業 (R4当初) : 4.1億円

- 自動車の電動化進展に伴い、**需要が減少する自動車部品（エンジン部品等）サプライヤーの「攻めの業態転換・事業再構築」実現を後押しする、伴走型ハンズオン支援事業を開始。**
- **6月以降、全国各地に支援拠点を設置し、相談受付を開始。** サプライヤーの状況に応じて脱炭素に向けた「**見方**」を示し、強力な「**味方**」として経営をサポート。

全国各地の支援拠点による伴走支援



窓口相談対応

サプライヤーとの対話により
現状・課題を分析



セミナー・実地研修

電動化の見通しや
基礎知識等をレクチャー



専門家派遣

戦略策定・技術開発・設備投資等
専門家が課題を解決

ステップアップ!

業態転換に向けた 設備導入等への補助



事業再構築補助金「グリーン成長枠」により、設備投資・研究開発等を支援

相談!

中堅・中小サプライヤー



エンジン部品の製造



EVモーターの部品・
電動車向け軽量部品の製造



攻めの業態転換・
事業再構築を実現